

質 問 書

2023年3月10日

「タンザニア国ダルエスサラーム市内交差点改良事業準備調査(QCBS)」

(公示日:2023年2月22日/調達管理番号:22a00573)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.16 第5条実施方針及び留意事項 (13)発注者が実施するミッションへの協力	「発注者が概ね四半期毎の報告書説明・協議に合わせて実施予定のファクトファインディングミッション等の日程に一部同行し、～」とありますが、①この時期はいつ頃を想定しているか、②その渡航時期はレポート現地説明時と重なるか、③ファクトファインディングミッションと審査ミッションの2回を想定しているか、についてご教示ください。ミッションに同行すべき団員の渡航回数と、現地調査実施時期の参考にさせていただきたく考えております。	ファクトファインディングミッションは調査団の渡航時期を考慮して計画する予定です。また、審査ミッションの時期も未定ですが、協力準備調査期間中に実施する必要がある場合は調査団の渡航時期も考慮の上、派遣すること検討する予定です。
2	P.17 第5条実施方針及び留意事項 (16)対象交差点の絞り込み 及び P.32 第7条 報告書等 (1)調査報告書 4) インテリム・レポート	P.32 インテリム・レポートの記載内容として「交差点3か所における・・・」とありますが、これは正しくは絞り込まれた「交差点2か所」と理解して正しいでしょうか。プロGRESS・レポートで事業対象交差点2か所を決定・合意形成し、選定された2か所に対して、第6条(10)、(11)、(13)、(19)、(21)の検討を実施する、という理解で正しいかご教示ください。	3か所を比較検討の上絞り込みを行うため、企画競争説明書に記載のとおり「交差点3か所」が正しい内容です。
3	P.20 第6条 調査の内容 (8) 交通需要予測更新	「道路区間別」と「方面断面別」、各「ゾーン」のアウトプットイメージをご提示いただけないでしょうか。道路区間別とは、交差点流入部(交差点流入部もしくはアプローチ部)の断面交通量を指し、方面断面別とは、交差点内の方向別交通量を指すと理解いたしましたが、正しいでしょうか。	貴社でお持ちの知見に基づき、プロポーザルにてご提案ください。

		また、集約大ゾーン、集約中ゾーン、小ゾーンがそれぞれ何を指すのかもご提示いただけないでしょうか。改訂MP 調査ではそのようなゾーン分けがなされておられませんので確認させてください。	
4	P.26 第6条 調査の内容 (19) 環境社会配慮に係る調査	タンザニア国側の ESIA 承認手続きに対する支援業務 (ESIA 報告書(案)に対する貴機構と実施機関の了解が得られた後の、実施機関が行う環境承認手続きの支援:NEMC からのコメント対応等)は、現時点で本業務の業務内容には含まれていないという理解でよろしいでしょうか。業務を実施している中で、そのような支援業務が必要になった場合、追加 MM や渡航費について別途協議を行うという理解でよろしいでしょうか。	現時点で本事業は当機構のガイドライン上、カテゴリ B となる想定であるため、業務内容には含まれません。
5	P.30 第6条 調査の内容 (26) 事業効果の検討 及び P.38 (2)業務量目途と業務従事者構成案 2)業務従事者の構成案	P.30 (26) 1)①に、「調査対象事業が将来的に料金収入を伴う場合、財務的内部収益率(FIRR)も併せて算出する。」とありますが、本事業は一般道路の交差点改良事業であり、また、類似事業(タザラ交差点、ウブンゴ交差点)でも料金徴収はしていないことから、財務分析の対象ではないと考えてよろしいでしょうか。それとも、料金徴収の有無は調査開始後に先方政府との協議を経ないと確定できないことから、本プロポーザル作成段階では財務分析を実施する前提で作業計画を検討すべきでしょうか。 P.38 の業務従事者構成案に「⑮経済財務分析」と記載ありますが、「経済分析」と想定してよいのか、「経済財務分析」とすべきかご教示いただけますでしょうか。	料金徴収は予定していないため、財務分析は対象外とし、業務従事者の担当分野は「経済分析」に訂正します。
6	P.31 第6条 調査の内容 (30) 本邦企業説明会の実施	実施時期が、「2023年9月頃」と「2024年1月頃」の2回が記載されてありますが、作成する動画は第2回目の説明会で使用することを想定すればよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

7	P.31 第6条 調査の内容 (31) ファイナル・レポートの作成	1)に、「上記の作業を踏まえて、「第7条 報告書等」に記載の各レポートを作成のうえ・・・」とありますが、「各レポート」ではなく「ファイナル・レポート」が正しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
8	P.32 第6条 調査の内容 (31) ファイナル・レポートの作成	2)に、「現地調査の冒頭には、レポート内容について先方関係省庁・機関に対し内容を説明し、協議・確認する。また借入国に JICA 事務所がある場合は、当該事務所に対しても内容の説明を行う。」とありますが、ファイナル・レポートは先方政府関係省庁・機関に対する説明を実施する必要がありますでしょうか。また、それは現地渡航を伴う対面での説明を想定されますでしょうか。 現地説明で渡航すべき団員の渡航回数と現地調査実施時期の参考にさせていただきたく考えております。	ファイナル・レポートは先方政府関係省庁・機関に対する対面での説明を想定しています。
9	P.32 第7条 報告書等 5) ドラフト・ファイナル・レポート	提出期限が「2024年1月22日まで」となっておりますが、正しい期日をご提示いただけますでしょうか。	正しくは「2024年1月22日」です。
10	P.38 (2)業務量目途と業務従事者構成案 2)業務従事者の構成案	「⑥TOD連携施設・設備計画」について、「TOD連携施設」とは「BRT乗降スペース・利用者導線と一般車両導線との離隔、鉄道やフィーダールートサービス用パラランジットとの連携・分担等」の検討を担当すると読み取れ、他方、「設備計画」は「アンダーパスの換気施設や電気照明、排水施設の検討」を担当すると読み取れるところ、両者の専門分野は一致しないと思われるのですが、この担当ポジションに想定されております業務内容をご提示いただけないでしょうか。	「TOD連携施設」は、BRTの停留所やターミナルが対象交差点の周辺ないし交差点内にある場合にそれらの施設にアクセスするための立体横断施設(地下道または歩道橋)及びエレベータ等を想定しています。 「設備計画」についてはご理解のとおりです。
11	P41 定額計上について 地形測量	補完調査仕様の検討に必要な既存地形測量データ(具体的には調査対象交差点のCAD地形データ)を配布資料として受領できるでしょうか。	受注企業確定後、先方実施機関から提供あったCADデータ(DWGファイル)一式を貸与します。応札に当たっては既に配布済みの一般図(PDFファイル)一式に基づきご対応の上、必要に応じて別提案・別見積もりを提出願いま

			す。(一般図に下図として使われている地形図・地籍図データが別ファイルとして独立しているか否かは機構内のシステムでは確認できておりません。)
12	P41 定額計上について 交通調査	ダルエスサラーム都市交通マスタープラン改訂プロジェクトで作成された本調査対象3交差点の 2040 年将来方向別交通量または断面交通量を配布資料として受領できるでしょうか。 また、業務実施の際、ダルエスサラーム都市交通マスタープラン改訂プロジェクトで作成された交通量推計データ(OD 表、道路ネットワーク、配分結果等)は提供いただけるでしょうか。	配布資料として前者を追加します。配布するデータはプロポーザル作成時の参考としてのみ使用することとし、二次使用は不可とします。なお、本追加資料につきましては、当該案件の配布依頼受付期限(2月28日)までに配付依頼メールを受領した企業・団体様宛に改めてGIGAPODにてご案内いたします。後者については、受注企業確定後、改めて他の推計年次(2030年次)も含めて一式貸与します。
13	P4 資料の配布依頼	配布資料のうち、「FINAL REPORT ENVIRONMENTAL AND SOCIAL IMPACT ASSESSMENT FOR IMPROVEMENT OF EIGHT (8) CRITICAL INTERSECTIONS IN DAR ES SALAAM CITY」は、関係機関から認可を受けたものでしょうか、また認可を受けた年月日をご存じであればご教示ください。	関係機関からの認可は未了です。
14	2回目の質問送付先について		3月3日から8日までのご質問は、企画競争説明書掲載アドレスに加え、下記アドレスにも送信をお願いします。 Ohnishi.Kenichiro@jica.go.jp

3月3日回答済み

15	P.18 第6条 調査の内容	「第6条 調査の内容」に対象交差点の絞り込み時期が記載されておりましたが、対象交差点2か所を先方政府と合意するタイミングはいつを想定されているかご提示ください。インテリム・レポートの段階(2023年11月	2か所への絞り込みについての先方政府との合意はインテリム・レポート作成後の現地調査を想定しています。対象の3か所にはアンダーパスとフライオーバーという異なる構造物が含
----	-------------------	--	---

		<p>22 日までに提出)まで対象箇所が決まらない場合、スケジュール的にその後の RAP 等の作業(住民説明含む)の実施が極めて難しくなるのではないかと危惧しております。</p> <p>対案として、プログレス・レポートの段階(2023 年 8 月 15 日までに提出)で概略検討に基づき対象交差点を2か所に絞り込み、選定された2か所に対して、(10)～(14)及び(19)～(21)を実施するのが作業計画上望ましいと考えますが、これは貴機構の想定にそぐわないでしょうか。</p> <p>また、通常の有償資金協力事業の協力準備調査では、概略検討を実施して事業対象が決まった後に、(10)～(14)及び(19)を実施するのが一般的だと思いますが、本業務では、有償資金協力事業の対象にならない交差点に対しても、同じ精度・熟度で(10)～(14)及び(19)の実施が求められるのかを確認させてください。</p>	<p>まれることを想定しており、3か所から2か所への絞り込みを行う判断材料として、概略設計、事業実施計画、概略事業費、調達計画、環境社会配慮等を同程度の精度で実施した上での比較検討が必要と考えています。</p> <p>企画競争説明書に記載のスケジュールでの実施が難しいとお考えの場合は、プロポーザルにてスケジュールをご提案ください。</p>
--	--	---	--

以上